

区議会だより

発行/江戸川区議会
江戸川区中央1-4-1
☎ダイヤルイン 5662-6736
<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

迎春

 大西洋平 自由民主党	 早川和江 自由民主党	 栗原ゆたか 自由民主党	 須賀精二 自由民主党	 しかくら勇 自由民主党	 斉藤つばさ 自由民主党				
 白井正三郎 自由民主党	 野崎まこと 自由民主党	 中山たかひと 自由民主党	 田中寿一 自由民主党	 福本みつひろ 自由民主党	 高木ひでたか 自由民主党	 ふじさわ進一 自由民主党	 川口としお 自由民主党	 島村和成 自由民主党	 川瀬やすのり 公明党
 竹内すすむ 公明党	 田中じゅん子 公明党	 中道たかし 公明党	 伊藤てる子 公明党	 関根まみ子 公明党	 堀江そういち 公明党	 くぼた龍一 公明党	 太田きみひろ 公明党	 所たかひろ 公明党	 竹平ちはる 公明党
 佐々木ゆういち 公明党	 岩田まさかず 江戸川クラブ	 ます秀行 江戸川クラブ	 小林あすか 江戸川クラブ	 笹本ひさし 江戸川クラブ	 小俣のり子 日本共産党	 牧野けんじ 日本共産党	 セバタ勇 日本共産党	 大橋美枝子 日本共産党	 本西みつえ 生活者ネットワーク・立憲民主党
 伊藤ひとみ 生活者ネットワーク・立憲民主党	 よぎ 生活者ネットワーク・立憲民主党	 金井しげる えどがわ区民の会	 神尾てるあき えどがわ区民の会	 間宮由美 無所属	 滝沢やすこ 無所属	 田島寛之 無所属			

新年を迎え皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします



区民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和3年の幕開けにあたり、江戸川区議会を代表し新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大によって全世界に大きな影響をもたらされた大変な一年でありました。本区では新型コロナウイルス感染症に係る相談・医療提供体制や区民への情報提供の強化をはじめとして、中小企業等への支援、PCR検査センターの設置による検査から療養まで一貫した体制の構築、更には、施設巡回PCR検査の実施等、様々な支援を行いました。区議会でも江戸川区議会新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、オンライン会議を含め計11回の役員会を開催、情報連携及び共有化を図りました。また、本会議や委員会では各種感染拡大防止対策を行い、円滑な議会運営の確保に努めて参りました。

しかしながら、未だに新型コロナウイルス収束の目途は立ちません。今後においては、「ウィズコロナ」と、その先の時代を見据えた社会基盤の構築に積極的に取り組んでゆくことが求められています。

教育の分野においては、GIGAスクール構想に基づき、区内小中学校の全児童・生徒へのタブレット端末の貸与等、オンライン学習環境の整備を進めています。全ての子どもたちの学びを保障するとともに、個人の学習状況に応じた主体的で多様な学びへと繋げて参ります。

災害対応の拠点となる区役所本庁舎については、2028年度の完成を目指し、移転・建設を着実に進めて参ります。70万区民を守るたく

ましい庁舎としてはもとより、「来庁しなくてもよい区役所」実現に向けたデジタル化、協働・交流の拠点、最先端の環境等の視点を取り入れながら力強く推進して参ります。併せて、本庁舎跡地の活用についてもまちの賑わいづくり等の観点から、新庁舎建設と並行して検討を深めて参ります。

福祉・教育・産業・環境等17の国際目標から成る「SDGs」を通じた区政の展開も、持続可能な社会の構築と都市としての更なる発展を図る上で重要な取り組みとなります。共生社会の実現やシティプロモーションの視点を取り入れながら、「SDGs未来都市」の選定を目指し、進めて参ります。

また、ハワイ州ホノルル市との姉妹都市に向けた取り組みを、かねてより重ねてきましたが、12月10日、ホノルル市議会において「江戸川区との姉妹都市盟約」が議決され、両都市が姉妹都市の絆で結ばれました。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いた際には調印式を執り行い、両都市の一層の発展に繋げて参ります。

その他本区の抱える課題は多岐に渡っておりますが、江戸川区議会は引き続き区民の皆様の声に耳を傾け、あらゆる局面に区とともに向き合いながら、安心して暮らせるまち、真に選ばれるまちを目指し、本年も積極的な取り組みを積み重ねて参ります。

今後とも、区民の皆様の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。

令和3年新春

江戸川区議会 議長 田中 寿一
副議長 関根まみ子

令和2年第4回定例会

補正予算を含む議案27件を可決

令和2年第4回定例会は11月24日から12月9日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、JR小岩駅北口地区市街地再開発事業の進展に伴う負担金などを計上した補正予算を含む議案27件と報告1件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは「固定資産税及び都市計画税の減

免措置の継続に関する意見書」が提出され、全会一致で可決されました。意見書は、関係機関に送付しました。

なお、12月9日の本会議において、中津川将照議員の辞職に関する議長声明がありました。

この定例会の会議録は、2月中にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

区政への質問

11月26日に代表質問、27日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問

ヒト・モノ・情報による持続可能な暮らしの実現



自由民主党
早川 和江



区内の様々な官公署との風通しを更に良くし、区民の要望が素早く届くよう、安全・安心のまちづくりに区としてどのように取り組んでいくのか、区長の考えは。

他機関の事業に関する要望も区の課題として認識し、改善が図れるよう働きかけや調整を行っていききたい。今後も皆さんが安全・安心を実感できるまちの実現に向けて、他機関と連携し、様々な課題に取り組んでいく。

民間企業の発想を区政に活かし、区として積極的に区民生活の向上に繋げていく取り組みが必要と考えるが、区長の考えは。

今後、人口減少に伴い、歳入や職員数も減少していく一方で、ますます複雑化・多角化した行政課題が出現すると思われる、民間企業との連携はより重要性を増すと考えられる。包括連携協定はもとより、民間提案制度や他自治体の例も参考にしながら、本区ならではのスタイルを研究していききたい。

区としてデジタル化を更に進め、「はんこレス」による事務の簡素化、デジタル技術を活用した電子申請化、オンライン相談等を積極的に導入し、来庁不要のサービスを拡大していくべきだと考えるが、区長の考えは。

来庁不要の区役所の推進には、はんこレスや電子申請化、オンライン相談等が必要である。区民の皆さんがデジタル化の恩恵・効果を実感できるような区役所を目指していききたい。

児童相談所における現役警察官の虐待相談対応と常勤弁護士の法的対応力強化の4月以降の状況について。また、政府が計画する専門職の確保、予防について、区としてどのように取

り組んでいくのか。

現役警察官の配置により、所管の中だけでなく、警視庁全体との連携が図れており、常勤弁護士の配置により、法的対応が必要な場合でも、児童福祉司等が自信を持ってケースワークを行うことができている。また、国の定数を超える職員を配置し、様々な専門性を確保するための研修も行っており、予防を視野に入れたケースワークに努めていききたい。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、危機的状況に置かれている屋形船への独自の支援策について、区長の考えは。

事業者の皆さんからの要望を反映した区独自の施策を展開しているが、区の大切な地場産業でもある屋形船が厳しい経営状況下にあることも事実である。今後も区内事業者の皆さんの声を聞きながら、活気が戻るような可能性と一緒に探っていききたい。

災害対策のツールとして、SNSを活用した情報収集・発信をどのように考えているのか。また、自助・共助・公助そして絆について、区長の考えは。

迅速な情報提供を行うことができる防災のアプリやポータルを構築していききたい。また、区民一人ひとりに災害を自分事として捉えてもらい、より一層地域の繋がりや防災機関の公助の力を結集していききたい。

江戸川を挟んで居住する区民・市民の生命と財産を守るための重要な施設である都県橋の早期実現は、本区にとって悲願である。柴又街道・補助143号線の橋梁整備について、これまでの進捗状況と今後の見通しは。



都県橋の早期実現について

10月に小池都知事から、令和4年度の事業化に向けて橋梁の構造等の検討を進めるという話があり、11月には千葉県が橋梁計画の説明会

を実施した。都県橋は、交通の円滑化はもちろん、災害時にも威力を発揮する大きなツールであり、今後は2022年の事業化に向けて、事業主体である東京都と千葉県に働きかけていく。

区立小学校の適正配置に伴う統廃合等が進む中で、未利用公共施設を地域活性化・創生のために有効利用する「仮称 子どもデザインテーマパーク」を提案する。

統廃合する時の需要で後利用を決めるのではなく、災害時に逃げられる公園等として暫定利用し、地域から真の需要が出てきた段階で活用していききたい。また、「子どもデザインパーク」については、素晴らしい提案であり、地域の声も聞きながら決めていききたい。

共生社会・SDGs未来都市実現に向けた取組みを!



公明党
太田 きみひろ



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年末年始の会食に対する感染予防の啓発が必要では。また、年末年始の迅速な検査・医療体制と無症状者等の療養体制についての考えは。

広く注意喚起を図っていく。また、年末年始においても、24時間の電話相談対応やホテル・自宅療養のフォローを行っていく。

本区の大規模水害対策について。

- ①広域避難・垂直避難について。
- ②区内ポンプ施設の高潮対策について。
- ③緊急車両の避難先の確保について。
- ④民間企業等と更なる協定締結の推進を。

- ①国や都に引き続き働きかけていききたい。
- ②高潮に耐え得るポンプ施設を要請していく。
- ③都に要望するとともに調整していく。
- ④今後もしっかり取り組んでいく。

東京都が進める「5つのレス」を本区ではどのように捉え、進めていくのか。

重要な課題と捉え、様々な課題も含めて庁内で検討を進めている。

SDGs未来都市への取組みについて。

SDGs未来都市を目指す理由と今後の進め方について。

- ②区民との協働をどのようにしていくのか。
- ③本区の教育にSDGsを学ぶ体制の構築を。
- ④①目標に向けて議論する過程が大切である。

全庁を挙げて議論を重ね、本区ならではの取り組みを提案していきたい。

②ターゲット別に施策を展開していきたい。

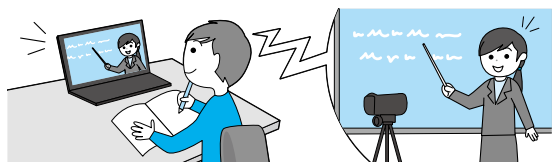
③学習の機会は増えている。既に取り組んでいる学校もあり、今後全校に広がるものとする。
問 コロナ禍における区立小中学校の今後の学校運営とICT化の推進について。

①今後の学校公開・体験学習のあり方と保護者とのコミュニケーションについて。

②ICT化・オンライン学習の推進の現状と今後の推進について。

答 ①感染状況を踏まえながら適切な教育活動の実施を図っていききたい。

②オンラインシステムの活用に取り組んでおり、今後も自発的な学習に繋がる環境を整えていく。



ICT化・オンライン学習の推進について

問 増加傾向のいじめ、不登校、暴力行為などの諸課題の改善について。

①令和元年度の調査傾向をどのように捉え、課題改善のためにどのように協働していくのか。

②調査概要と不登校対策等のあり方について。

答 ①②認知件数増加は、解決に向けたスタートラインに立っているということでもある。子どもを取り巻く諸課題に対し、関係機関との連携を強化しながら、対応を図っていく。

問 小松川・平井地域の諸課題について。

①現小松川一中と小松川三中の後利用等も含めた今後の方向性について。

②東大島駅周辺地域の高齢化への対応について。

③バス交通の課題について。

④地域での防災の取り組みの活用について。

答 ①施設の更新等を踏まえて検討していく。

②地域の方の声を踏まえ、検討を進めていく。

③更なる利便性の向上を目指していきたい。

④広く区内全域に紹介していきたい。



区民健診でPCR検査を！身近な地域で行政手続きを。

江戸川クラブ
笹本 ひさし



問 新型コロナ感染防止対策について。

①PCR検査のなお一層の拡大と検査費用の負担額軽減を。

②発熱専門外来施設・窓口の設置促進と支援について、医師会と連携した対応を。

③無症状の希望者や陰性証明を必要とする方のためにも、区民健診でのPCR検査実施を。

④陽性者の隔離、入院勧告、疫学調査等の施策に対する考えは。また、国や東京都に対し、最前線からの意見を伝えるべきと考えるが。

⑤学校現場での感染防止策と対応について。

答 ①クラスター発生の恐れが高い施設に出向き、無償で検査を行っている。自費で検査を受けられる環境も整ってきているので、医師が必要と認める場合以外は、自費で受けていただきたい。

②区内125か所の医療機関で発熱患者を受け入れており、補助金や防護具の提供を行っている。今後も医師会と相談しながら、体制を整えていきたい。

③区民健診との同時受診は、感染リスクが生じるため困難である。

④現在、疫学調査を実施しているが、フェーズによって効果的な対策は変化していく。今後も国や都と連携し、感染状況に合わせて適切な対策を進めていく。

⑤様々なケースで感染者が生じた場合の対応について、フローチャート化しており、その基準に従いながら行っていく。また、今後の国や都の動向も踏まえて対応していく。

問 公契約条例制定に向けて、経緯や持続可能な開発目標、地域共生社会構築との関連について、説明と考えを。

答 公契約の理念は、SDGsのゴールにも繋がるものである。地域経済と区民生活、両方を守る公契約条例を策定していきたい。

問 本区が子どもの権利条例の制定に向けて動き出したことは極めて意味があり、区民の皆様にも賛同していただけたらと思う。条例制定に向けた経緯と決意を。

答 児童相談所の設置により、子どもを守ろうという地域の気運も高まっている。本区が培ってきた子育て環境のもと、条例制定を契機として、全ての区民が手を携えて子どもの育ちを支えていきたい。



子どもの権利条例制定について

問 運転免許を返納した高齢者、特段の障害や介護認定のない高齢者等に対する外出支援や日常の買い物支援等の移動支援策について、区長の考えは。

答 公共交通あるいはコミュニティ交通導入も視野に入れながら、提案にあったような交通の支援について検討していきたい。

問 不登校児童対策について、東京シューレ江戸川小学校（不登校特例校）の事例を区立小中学校に適用でき得るかが課題解決、突破の糸口と考えるが、区長の考えは。

答 3月に包括的連携協定を結んだが、今年は新型コロナウイルス感染拡大により、活動を進めることができなかった。来年度は、ぜひ専門的なノウハウを学ぶ機会を設け、本区の不登校対策に活かしていきたい。

問 (仮称)角野栄子児童文学館の設立にあたっての夢を語ってほしい。また、本区にゆかりのある作家について紹介していくべきと考えるが。

答 全国から人が集まるような、何度も訪れたくなるような仕掛けを考えており、期待してもらいたい。また、角野先生以外の作家の紹介についても行っていく。

問 児童相談所を運営していく上で都区財政調整協議は極めて重要である。都区間の政治課題である財政調整の配分割合について、区長の考えは。

答 本区を含む先行3区の実績を捉え、令和4年度に再度協議する際には、配分割合アップに向けて粘り強く主張していきたい。

問 電子申請・決済、ワンストップ手続きについて、高齢者や端末を持たない方に対し、出先機関で手続きができる制度の構築を。また、新庁舎移転整備において、来庁せずに手続きが完結できるシステムの構築を。

答 端末を持たない方や使えない方については、

ケースに合わせて個別に対応していく。また、アウトリーチを行うかどうかも含め、しっかり対応していきたい。

問 ご当地ナンバープレート「えどがわ」を取り入れ、本区を積極的にアピールすべき。

答 申請の条件に「地域住民の合意形成が図られていること」とあり、区民や議員の皆様の想いを踏まえ、進めていきたい。

問 新型コロナウイルス感染拡大が区民に大きな不安をもたらしている今、区長記者会見の動画を配信してはどうか。「エール」とも言える力強い応援メッセージが今こそ必要である。

答 現場で頑張っている部課長に任せるところと区の長として自分が出るところを上手く分けて、メッセージを発信していきたい。記者会見については検討している。



コロナ急増対策、ひとり親支援、公契約制度の充実を

日本共産党

セバタ 勇



問 新型コロナウイルスの新たな感染急増対策等について。

①スクリーニング目的のPCR検査の対象に、最前線に対応している医療機関を加えるべき。

②無症状または軽症の陽性者のために、ホテル等の保護施設の確保を行うべき。

③感染歴追跡のためのトレーサーの確保を。

④深刻な経営難に陥る医療機関への補助を国に求めるとともに、区としても支援すべき。

⑤住居確保給付金と2つの特例貸付の延長を国に求めるとともに、ひとり親世帯・新生児等への区独自の給付金の支給を。

答 ①都による全額負担の制度がある。区としても引き続き現行の迅速な検査を行っていく。

②今後も都と連携し、調整を行っていく。

③都によるトレーサー班拡充が行われる予定であり、連携して感染拡大防止に備えていく。

④医師会とよく相談していきたい。

⑤区として再延長は求めないが、国の動向を注視していく。区独自の給付金支給は考えておらず、引き続き区民に寄り添った支援を行っていく。

問 気候非常事態宣言と温室効果ガスゼロへの取り組みについて。

①再生可能自然エネルギーの抜本的拡充と原発をゼロにすることを求める考えはあるか。

②「気候非常事態宣言」「ゼロエミッション宣言」により、区民の一層の努力を引き出せるのでは。

③太陽光パネル設置住宅への補助を。

答 ①現時点で、国のエネルギー施策に意見することは考えていない。

②気候変動への対応については、「第2次エコタウンえどがわ推進計画」で示しており、2050年実質ゼロ表明については、様々な議論や意見を踏まえながら検討していきたい。

③現行の融資制度を活用してもらいたい。

問 公契約条例の制定と建設労働者等の環境改善について。

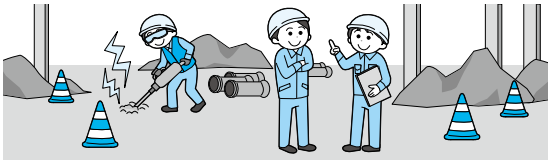
①制定のスケジュールと審議会設置について。

②公契約のもとで働く全ての労働者を対象に。

③建設産業における下請け労働者等への賃金支払いが適正かなどの実態把握と改善を。

答 ①来年10月の運用開始を目指している。労働環境に係る重要事項については、労働報酬審議会でも調査・審議してもらう予定である。

②対象は工事だけでなく、業務委託や指定管理にも及ぶことを考えており、現在検討中である。
 ③実態把握は行っていないが、労働報酬下限額と労働環境確保の条例整備により、今後可能となるので状況によって改善を求める。



公契約条例と建設労働者の環境改善について

一般質問

江戸川区再生！ 夢と活力ある施策実現を。



自由民主党
ふじさわ 進一



☒ コロナ禍によるかつてない景気低迷と厳しい財政難に陥っている中で、区民生活を思い、福祉・健康・まちづくり・教育等の施策全般において、区民が安全・安心に暮らせる、子ども達が夢や希望を持って毎日を過ごせる江戸川区再生のため、大胆かつ丁寧な積極的施策展開が必要と考えるが、区長の決意を問う。

☑ 区民や事業者、医療機関、エッセンシャルワーカーの皆様から様々な声を聴きながら、連携していきたい。その上で、財政状況をしっかり見定め、必要な施策を大胆かつスピーディーに実施していきたい。

☒ 防災力向上への取り組み。

①本区の南北に薬品備蓄拠点整備されることにより、大きな病院間における慢性疾患患者用の使用薬品の違いが確実に改善できる。薬剤師会との協議に基づき、北ブロックの拠点となり得る既存病院と本格的に具体的検討を進めることを提案するが、区長の考えは。

②今後、備蓄品や防災用具の整備、更には災害時に最も重要な地域との連携を進める上で、都立高校等の新たな一次避難所をどのように運営・活用していくのか。現状の課題と今後の展望を含め、区長の考えは。

☑ ①薬品備蓄拠点は複数ある方が望ましいと思っている。今後、薬剤師会と話し合いながら、具体的な検討を進めていきたい。

②結びつきが強いとは言えない都立高校等の新たな避難所を、どのように運営していくかという大きな課題がある。これまで小中学校を中心に配置してきた避難所開設職員を高校にも配置し、備品については、議会に提案している。また、避難所開設訓練を積み重ねることで、地域との密接な連携を図っていく。

☒ 「口腔内の健康が全身の健康に繋がる」という視点に立ち、一時保護所における正しい歯磨きの実践と歯科医による健診で、保護された児童の口腔保健を守り、保健指導により健康な身体の大切さを教えることを提案する。また、若年層からのライフステージに応じた区民一人ひとりの課題を早期に発見し、迅速に対策を講じることが必要と考えるが。

☑ 一時保護所において、歯科疾患の早期発見と予防、口腔内の健全な発育発達を歯科健診で支援し、自分の歯の健康を自分で守ることがで

きるよう、実施に向けて歯科医師会と協議・調整中である。また、本区ではライフステージに応じた取り組みを行っており、今後も地域や学校、歯科医師会と連携を図りながら、区民へ歯の健康の重要性について普及啓発、受診勧奨をしっかりと行っていきたい。

☒ 地域の実情に応じたコミュニティ交通の導入は、歳を重ねても安心して本区で暮らし続けるために必要であると考え。現段階における区としてのコミュニティ交通導入への具体的な取り組みについて問う。

☑ 7月に上一色をモデル地区に選定し、町会・自治会との意見交換やタクシー事業者との協議を進めてきた。現在、この地域の全世帯を対象にアンケートを実施し、需要の確認を行っている。アンケート結果等に基づき、運行ルートや便数、運賃等の検討や事業者選定を行い、来年度中に実証実験を行いたい。

☒ 改築校において、子ども達を中心に利用団体等の希望を取り入れ、災害時の防災拠点等の複合的な機能を持つ特別教室を、専門事業者の視点と技術を加えて作ることは、特色ある魅力的な学校づくりに繋がると考えるが。

☑ 国の指針を踏まえ、本区においても、学校施設の地域利用を想定している。少子化の進行により今後更に地域利用の必要性が高まると思われるため、地域利用をより意識した整備を進めていきたい。

☒ ユニバーサル教育推進の見地からも、「ダイアログ・イン・サイレンス」を早期に、本区の教育現場で広く紹介し、多くの子ども達の心の眼を開かせる教育展開に繋げてほしいと考えるが、教育長の考えは。

☑ 共生社会を生きる子ども達にとって、様々なコミュニケーション方法を知り、その能力を育てていくことは大変重要であり、取り組みについて検討していきたい。

地域共生社会の実現で 安心と笑顔の未来を！



公明党
中道 たかし



☒ 「なごみの家」の今後のあり方について。

①今後の拡充について、区長の考えは。
 ②地域に広く認知されるよう取り組みの強化を。
 ③今後特に重要となってくる地域のネットワークづくりに対し、区として強力な支援を。

☑ ①地域共生社会の拠点として、2025年を目途に15圏域全ての整備をしていく。

②積極的に地域との繋がりを構築しており、様々な声を聞きながら進化させていきたい。

③なごみの家が進める地域づくりは、地域のボランティアに支えられており、今後、地域で活躍していく次の世代を育てていきたい。

☒ 本区の終活支援事業について。

①引き取り手の無い遺骨の現状とそれに伴う区の財政負担について、区長の考えは。

②安心して晩年を迎えるための「おひとり様支援事業」を含めた終活支援事業について。

☑ ①引き取り手が無い遺骨は増加しており、葬祭費は東京都が全額負担している。区としては、戸籍の調査を行い、請求すべき方については請求する等の適切な措置を行っている。

②葬儀や遺品等、誰もが心配するであろう部分に着目し、先進自治体の例等を参考にしながら、

事業を組み立てていきたい。

☒ (仮称)江戸川区角野栄子児童文学館の一体施設として位置づけられている「なぎさボニーランド」に加え、小動物との触れ合いを体感できる「ふれあいコーナー」を設置してはどうか。

☑ 提案内容も参考にしながら、豊かな自然を感じられる環境の充実を図る公園改修を行い、児童文学館と一体の魅力ある施設づくりに取り組んでいきたい。

☒ マンホールトイレの整備促進について、国のガイドラインを整備計画に反映させるべきと考えるが、今後どのように進めていくのか。

☑ 国のガイドラインに沿って整備を行い、避難所開設訓練において定期的に使用していきたい。

☒ (仮称)松島地区区民施設について。

①施設の運営主体について、どのように考えているのか。

②施設完成後の隣接する広場の位置づけと名称を含めどのように整備していくのか。

☑ ①業務委託による施設運営を図っていく。
 ②防災機能を備えた公園とし、公園の名称やボランティア等については、今後、皆さんと相談していきたい。

羽田新ルート中止、高齢者福祉の拡充、少人数学級を



日本共産党
大橋 美枝子



☒ 羽田空港新ルートについて。

①コロナ禍で減便が続く状況からも、新ルートの一時的な中止を国に求めるべきと考えるが。

②騒音負担軽減や荒川沿い新ルートの運行が区内陸域に入り込んでいることについて、緊急説明会を国に求めるべきだがどうか。

☑ ①現在、一時的に減便しているが、羽田空港の機能強化は必要と考えており、国に中止を求める考えはない。騒音軽減と落下物対策については、引き続き国に要請していく。

②内陸飛行については、毎月のように国に申し出を行っている。また、新ルート運用開始後も住民説明会は必要と考えており、繰り返し国に開催を求めていく。

☒ 高齢者施策について。

①第8期介護保険料策定にあたり、保険料基準額の据え置き、高所得者の保険料値上げと低所得者の保険料引き下げを提案する。

②加齢性難聴対策に、補聴器購入の補助金対象の拡充と金額の増額が必要であると考え。

☑ ①計画改定検討委員会の中で検討しており、適切に設定をしていく。

②補聴器は体の一部であり、医師の診察を受けて体に合うよう調整を行ったものが必要である。そういう観点で、現行の制度を見直していきたい。

☒ 教育行政について。

①国に早期の学級編制基準改定、都に独自の少人数学級教員配置を求めるべきだがどうか。

②少人数学級実施を進める立場に立ち、教室確保の面から、学校の統廃合をしばらく見合わせるよう求める。

③一年単位の変形労働時間制度の導入中止を。

☑ ①コロナ禍の中で、文部科学省が少人数学級実施を打ち出した。これは一定期間をかけて

計画的に実現していくものであるが、国に対し円滑な移行を求めていく。また、国や都への要望については、教育委員会として行っている。

②学校の老朽化が着実に進んでおり、児童・生徒の身の安全を考えると、統廃合・学校改築は計画的に進めていかなければならない。今後は、少人数学級の動向を注視しつつ、児童・生徒にとって望ましい学習環境の確保に努めていく。

③変形労働時間制の導入に伴う条例整備については、事前に各区の意見をよく聴いて検討するよう、都の教育委員会に申し入れを行っている。現在、都における条例上程の動きはないが、引き続き動向を注視していきたい。

プラスチックごみと食品ロス削減のために



生活者ネットワーク・立憲民主党
伊藤 ひとみ



- ①「Edogawa ごみダイエットプラン」について。
- ②「プラスチックごみゼロ宣言」について。
- ③プラスチックごみ削減に特化した検討会を。
- ④アプリを使った周知と清掃活動の促進を。
- ⑤若い感性で環境動画コンテストの開催を。

- ⑥ ①引き続きごみ減量と一人当たりのごみの量削減、資源回収率向上に取り組んでいく。
- ②現時点で宣言を行う考えはないが、引き続き3Rの推進等に取り組んでいく。
- ③新たな作業部会の設置は考えていない。
- ④⑤新たな取り組みや手法を研究していく。

- ⑦ 食品ロスを削減するために。
- ⑧ ①なごみの家や商店会などと連携し、フードバンク等の仕組みの構築を。
- ⑨ ②学校における食育のテーマに食品ロスを。
- ⑩ ①来年3月公表予定の「食品ロス削減推進計画」の中で良い仕組みを作っていきたい。
- ⑪ ②社会科や家庭科で学ぶ機会を設けている。

オンライン授業実施時の学校介助員のあり方は。



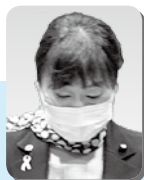
えどがわ区民の会
神尾 てるあき



- ⑫ がん教育の推進について。
- ⑬ ①学校におけるがん教育の現状は。
- ⑭ ②がん教育の今後の展望について。
- ⑮ ①がん教育を意識した教科書を選定し、指導している。
- ⑯ ②正しい知識を持てるよう推進していく。

- ⑰ オンライン授業実施時に、自宅等において学校介助員制度を利用できるのか。
- ⑱ ①自宅等における支援は想定していない。
- ⑲ 難病対策地域協議会について。
- ⑳ ①協議会の必要性は。②今後の展望は。
- ㉑ ①大変有益なものであると認識している。
- ㉒ ②児童相談所設置により小児慢性特定疾病事務が移管された。両方を扱う協議会を検討する。

防災も「権利条例」も参画することで、自分事に。



無所属
間宮 由美



子ども達の安全を守るため、登下校の時間帯において、シルバー人材センターからの見守りができるよう費用の支援を。

⑳ 本区ではこれまで、学校や保護者だけでなく、地域の方の協力により、子ども達を見守ってきた。一部の地域だけを区で経費負担することは、本来あるべき姿であるのか疑問に思う。

災害時に区民が自分ごととして命を守ることができるために。

①「防災行政無線」の「聞こえの情報」について、区民の力を借りて分析を。

②「災害ボランティア講座」初級・中級修了者と町会・自治会の引き合わせを。

㉑ ①現在実施している区民世論調査を通じて、分析を行う。その上で、聞こえない・聞こえづらい場所については原因を分析し、無線設備の改良や広報車での放送等に取り組んでいきたい。

②講座の修了者が地域防災力向上のために取得した力を活用できるよう、避難所運営協議会の地域の代表の方に紹介していきたい。

㉒ 子ども達への意見聴取には力を入れており、更に多くの子ども達の声を聴く方法について、教育委員会等と調整していきたい。

子どもの権利を守ろう 妊娠で悩む方を支えよう



無所属
滝沢 やすこ



㉓ 江戸川区一時保護所2階から飛び降りた子どもさんの気持ちを受け止め、一時保護中の子どもの権利を擁護する体制の緊急整備を。

㉔ ①重く受け止めている。提案を参考とする。

㉕ 障害者支援ハウスでの利用者死亡事故を受けて、指定管理者制度の見直しがなく問題。

㉖ ①常に業務を見直しており、今後、運用指針に事件・事故対応規定の追加を検討していく。

㉗ 財政民主主義について透明性の拡大を。

㉘ ①現時点で概算要求の公開は考えていない。

女性活躍社会の推進と 災害時医療体制の充実について



無所属
田島 寛之



㉙ 本区がこれまで、ワーク・ライフ・バランスの更なる向上を目指すとともに、職員一人ひとりがその能力を最大限発揮できるよう、柔軟な働き方が選択できる環境の構築に努めてきたことは承知している。その上で、女性活躍推進に対する区の姿勢を問いたい。また、本区の女性管理職の割合と男性職員の育児休業取得率について目標値の設定等、具体的な提示をしていく考えはあるのか。

㉚ ①江戸川区男女共同参画推進計画に基づき、今後も女性の活躍推進を図っていきたい。また、女性が働きやすい、管理職試験に手を挙げやすい環境づくりに努め、管理職の男女割合が同程度となることを目指す。男性職員の育児休業取得については、100%を目指し、管理職からの働きかけを行うとともに、代替職員の確保等に

より、職場の負担を軽減しやすい環境を整えていく。

災害拠点病院に指定されている東京臨海病院にはヘリポートがない。区民の命を守るため、ヘリポート設置に向けて行政としても働きかけ、支援を行っていただきたいと考えるが。

㉛ ①病院の敷地内にヘリポートがあることは望ましいが、病院側の意向も踏まえる必要がある。都で設置工事に関する補助事業も行っているが、区として支援できることがあれば、病院とよく相談した上で対応していきたい。

バス停の安全対策を！都県橋と篠崎公園高台化の推進を!!



公明党
所 たかひろ



高齢者用肺炎球菌ワクチンの接種率向上への取り組みについて。

①今年の対象者に、ワクチンの必要性を理解してもらうための周知や再勧奨を。

②コロナ禍での費用助成対象の拡充を。

㉜ ①年度当初、対象者全員に個別に通知している。引き続きわかりやすい周知に努めていく。

②令和元年度の対象者については、接種期間を延長しており、今後については、国の動向や感染状況を注視しながら、計画的に進めていく。

人工知能AIの活用事例も含めた認知症早期発見への対策について、区長の考えは。

㉝ ①今年度、認知症あんしん検診事業を始めたばかりであり、先端技術の活用については、医師会とよく相談していく。

安心して出産できる環境づくりについて。

①SNS等を活用した産前産後の両親教室や相談体制の仕組みづくりについて。

②産後うつが増加・長期化している今、産後ケア事業の期間延長と宿泊型事業の拡充を。

㉞ ①実地体験の重要性も踏まえ、SNSを活用した仕組みづくりについて検討していく。

②期間延長を検討している。宿泊型の必要な全ての方に対象の拡充を図っていきたい。

本区における「危険なバス停」の実態と安全対策について、区長の考えは。

㉟ ①年内に国土交通省から危険なバス停が公表される。引き続き関係機関や地元の声を聴きながら、速やかに安全対策に努めていく。

京成小岩駅周辺のまちづくりの更なる推進と連続立体化事業の早期実現について。

①駅周辺の高架下の有効活用を。

②地域住民に対する事業説明について。

③京成小岩第1踏切の安全対策について。

④連続立体化事業の早期着工・実現に向けて。

㊱ ①事業の進捗を見ながら検討していく。

②協議会・勉強会や地域のイベント等、様々な機会を捉えて周知していく。

③歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に通行できるような環境を整備していく。

④引き続き都に対し、早期着手を要請していく。

補助286号線都県橋の整備推進と篠崎公園の高台化事業について、区長の考えは。

㊲ ①補助286号線橋梁整備の早期実現に向け、事業手法の具体的な検討を進める。また、篠崎公園の拡張・高台化の早期実現に向け、あらゆる機会を捉えて都に強く働きかける。

議案等の概要と結果
(○…賛成、×…反対)

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、江ク…区議会江戸川クラブ、共産…日本共産党、
ネ立…生活者ネットワーク・立憲民主党、区民…えどがわ区民の会
無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています。

(議長を除く 計43人)

件名	概要	自	公	江	共	ネ	区	無所属			賛	反	結				
		民	明	ク	産	立	民	(50音順)	1	1				1			
区長提出議案																	
算	令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	令和2年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	42	0	可決			
	令和2年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	42	0	可決			
	令和2年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	42	0	可決			
	令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	42	0	可決			
	令和2年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	42	0	可決			
	令和2年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	42	0	可決			
	令和2年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	42	0	可決			
条例(一部改正)	江戸川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	42	0	可決			
	江戸川区自転車等の駐車秩序に関する条例	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	36	6	可決			
	職員の給与に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決			
	幼稚園教育職員の給与に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決			
その他	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決			
	江戸川区総合文化センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	江戸川区立穂高荘の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	塩沢江戸川荘の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	江戸川区民センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	江戸川区総合体育館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	江戸川区スポーツセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	江戸川区スポーツランドの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	江戸川区陸上競技場、江戸川区球場及び江戸川区臨海球技場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	江戸川区そよ風松島荘の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	江戸川区立障害者就労支援センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	江戸川区営本一色町第二アパート、江戸川区営江戸川中央一丁目第二アパート及び江戸川区営中葛西四丁目アパートの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
	江戸川区自転車駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決			
江戸川区自転車駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決				
江戸川区自転車駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	41	1	可決				
報告	専決処分した事件の報告について	江戸川区の私権債の管理に関する条例に基づき、返済期限が到来している貸付金の返済を求める訴えの提起について、1件の専決処分を行った。															
議員提出議案																	
17号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書	詳しくは8ページの「議員から提出された議案」をご参照ください。						○	○	○	○	○	○	○	42	0	可決

※1 中津川将照議員が12月9日に議員辞職したため、区議会江戸川クラブは4人になりました。
※2 生活者ネットワーク・立憲民主党は、会派拘束を解き、採決にあたりました。

皆さんから出された請願・陳情

新たに受理されたもの	付託委員会	番号	内容	委員会
61号 認可保育園のコロナ禍における保育士の休業補償の是正に関する陳情	福祉健康委員会	63号	マイナンバー制度の利用範囲拡大の中止を要請する意見書の提出を求める陳情	生活振興環境委員会
62号 国は国内に(医療用品)を生産する国策会社を設立すべきとの意見書を厚生労働省に提出する事に関する陳情	総務委員会 参考送付	64号	生活保護の夏季加算、エアコン設置助成を求める陳情	福祉健康委員会
		65号	情報公開条例の一部改定に関する陳情	総務委員会

今回の定例会で結果が出された請願・陳情		自	公	江	共	ネ	区	無所属			賛	反	結	
		民	明	ク	産	立	民	(50音順)	1	1	1	成	対	果
40号	羽田新飛行ルートの運用をいったん中止し、ルート再検討を国及び東京都に働きかけるよう求める陳情	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	33	9	不採択 ※3
52号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	42	0	採択
53号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	42	0	採択

※3 不採択に賛成……○、反対……×

写真で振り返る江戸川区議会の1年間

2月

令和2年第1回定例会において
予算特別委員会を開催し、
令和2年度の予算を審査しました。



3月

3月19日から「江戸川区議会新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、5月27日に終了するまでの間、区議会として対応策等について計11回の役員会を開催いたしました。



5月

臨時会が開催され、委員会のメンバーが変更になりました。

8月

8月5日、新潟県南魚沼市と友好都市盟約を締結しました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、Web会議システムを使って締結式を行いました。



10月

令和2年第3回定例会で決算特別委員会が開催され、令和元年度の予算が適正に執行されたかを審査しました。

令和3年第1回定例会開催予定

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 2月17日(水) | 本会議 (議案上程、委員会付託) |
| 19日(金) | 本会議 (一般質問) |
| 22日(月) | 本会議 (一般質問) |
| 24・25日 | } 予算特別委員会 |
| 3月1・2・4・5・8・10日 | |
| 11日(木) | 常任委員会 (議案審査) |
| 12日(金) | 各常任委員会 (請願・陳情等の審査) |
| 23日(火) | 本会議 (委員会報告及び表決) |

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。

※傍聴は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

議員から提出された議案

— 意見書は関係機関に送りました —

○固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書

〔東京都知事 へ〕

小規模住宅用地の都市計画税を2分の1に軽減、小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税を2割減額、商業地等の固定資産税・都市計画税について負担水準の上限を65%とする措置の令和3年度以降の継続を東京都に求める。

区議会だより編集委員会 (◎委員長 ○副委員長)

- | | |
|--------|--------|
| ◎大西洋平 | ○竹内すすむ |
| 岩田まさかず | 小俣のり子 |